２０２４年度（令和６年度）
済美中学校区
福山市立済美中学校
学校要覧

福山市立済美中学校

〒　720-0843
広島県福山市赤坂町赤坂 7267 番地 2
Tel　084-951-1009　　Fax　084-951-6928
http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-seibi

済美中学校区小学校

福山市立津之郷小学校

福山市立赤坂小学校

福山市立瀬戸小学校

【学校教育目標】

人間性豊かに他者とかかわり，確かな学力を身に付け，夢を語り，自らの進路を切り拓く生徒の育成

【校訓】

至誠　　力行　　一貫

【学びづくり】

研究主題	生徒の主体的な学びを進めるファシリテート
内容等	○単元指導計画の工夫 ①　単元を貫く問いや課題設定の吟味（教材研究の充実） ②　生徒相互の学び合いの質の向上 ③　振り返りの充実
めざす授業の姿	○一人一人が自分で考え，間違いを恐れずに意見を交わし，共に学び合っている。 ○学びを振り返り，分かったこと，考えたことを豊かに表現している。

【目標・評価項目・指標等の設定と評価（重点のみ)】

目標	短期経営目標	取組	評価項目・指標等
課題発見解決力，コミュニケーション力の育成	「授業で考えることが面白い」「他者との対話で考えが深まる」と実感できる生徒の割合を増やす。	①単元構成の改善を図り，単元を貫く「問い」を設定した授業を実施する。教材や子どもへの理解を高める研修の実施。 ②ICT の有効活用を通して，知識・技能の習得の時間を短縮し，思考力・表現力を育成する時間の確保及び質の向上を図る。クエストエデュケーションの導入。	①学びのアンケート「他者の意見を参考に，考えを整理できたり，理解が深まったりする」９０％以上。前年度 86.6% ②学びの調査結果，県平均（市平均）以上。
他者とかかわり合う力・心の育成	済美６行動の「人のために動く」活動を活性化させ，生徒の自己有用感を高める。	①行事・部活動・学級活動・生徒会活動等を通じて，生徒が自ら考え，主体的に参加できる環境づくりに取り組む。 ②活動の後に振り返りをすることで，生活の中で人のために動くことを，生徒同士で認め合えるようにする。生徒を教師が支えて，生徒の自己有用感を高める。	①「学級の係や当番の仕事，ボランティアを進んでやっています。」85%以上。（「よくあてはまる・あてはまる」の肯定的評価）※前年度 82.6%
学校教育に対する満足度を高める	学校が楽しいと思う生徒の割合を増やす。教職員の働き方改革を具体的に進め，やりがいを感じる職場づくり。	①カリキュラム，時間割，部活動等の在り方の見直しを積極的に行う。また見通しをもって計画を立て，時間外勤務時間 45 時間を超えないようにする。 ②教職員がやりがいを感じられるよう，教職員発の取組を励行し，職場の活性化を図る。	①「学校が楽しいです」の割合を９０％以上。前年度 88.5% ②やりがいを感じる教職員６０％以上。（「よくあてはまる・あてはまる」の肯定的評価）※前年度 44.4%

＜校　歌＞

福山市立済美中学校校歌

上村貞章作詞
山本正人作曲

一　朝香ぐわし松風の清き窓辺に通うとき
　ああ我が胸は高鳴りて
　　済美の意気にもゆるなり
　　至誠力行一貫の
　　この大道よ我ふまん
　　この大道よ我ふまん

二　尽きぬ泉の増鏡影もさやかにたたえては
　ああ我が心つつしみて
　　済美の願いかざすなり
　　至誠力行一貫の
　　この大道よ我行かん
　　この大道よ我行かん

三　夕べはるかに葛城の峯に立つ星を仰ぐとき
　ああ我が瞳かがやきて
　　済美の理想えがくなり
　　至誠力行一貫の
　　この大道よ我とげん
　　この大道よ我とげん

＜校区・学校の目標等＞

【中学校区】

育成する力 (21 世紀型“スキル＆倫理観”)	○　課題発見・解決力　○　コミュニケーション力　○　他者とかかわり合う力・心
めざす子ども像	①自らの目標に向かって努力し，チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係を気づき，共によりよく生きようとしている。
校区として 統一した取組等	○「選択・決定」「対話の充実」「振り返り」をキーワードに授業づくりを進める。 ○「主体的，対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会・生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成

【めざす子ども像】

育成する力			○課題発見・解決力 (問いを持つ ふり返る 見通す)	○コミュニケーション力 (聴く　伝える　まとめる)	○他者とかかわり合う力･心 (思いやり　社会性　貢献)
めざす子ども像	中学校	1年	活動して気付いた・考えたことなどを振り返り，次の（新たな）目標や課題を見出し，次の活動につなげることができる。	自分の考えを，他者に分かりやすく（例え話の挿入，図表や絵・写真・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞの活用，話し方や声のﾎﾞﾘｭｰﾑ・ﾄｰﾝの工夫など）伝え，理解・納得を得ることができる。	多様な他者との多様なかかわりを通して、(時には，ぶつかりながら)それぞれの良さや違いを見出し，受け入れながら，助け合ったり，（競い合い）高め合ったりしようとしている。
		2年 3年	活動して気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等を振り返り，見出した次の（新たな）目標や課題を，見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら（他者を巻き込んで）解決・達成していくことができる。	自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら，質問（反論・同意）・説得・納得等を繰り返し，考えを広げ深めるとともに，まとめたり（合意形成），新たな発想を生み出したりすることができる。	集団（地域，学校・学年・学級等）活動における自らの役割とその目的・価値を見出し，多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら，責任を果たしたり，誰かの役に立とうとしたりしている。

＜生徒数・学級編制＞5月1日現在

	1　年		2　年		3　年	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1組	１９	１７	２１	１６	１７	１８
2組	１８	１８	１９	１６	１９	１７
3組	１９	１９	２０	１７	１９	２０
4組	１９	１９	－	－	－	－
知的	3	1	3		1	3
自･情	3	1	4	1	5	
計	８１	７５	６７	５０	６１	５８
学年計	１５６		１１７		１１９	
総計	３９２					